

長寿命形無溶剤エポキシ樹脂塗料塗装方法塗装技能者講習会について

日本水道鋼管協会

1. 目的

長寿命形水道鋼管における品質確保の観点から、工事請負企業が開催する技能講習会
1) (座学及び技能確認) により塗装技術の確認を行なう。

注1) くし形へらによる塗装は国内で初めての方法であることから、本講習会開催前に、WSP075—長寿命形水道鋼管用無溶剤エポキシ樹脂塗料塗装方法 (現場溶接部の動力工具による下地処理と手塗り塗装) —の参考資料 1 「現場溶接部内面塗装マニュアル」に従って十分に練習し、塗装技能を高めておく必要がある。

2. 講習会の開催について

2-1 開催概要

本講習会は、工事案件にかかわらず塗装技能が必要な作業員に対し実施するもので、WSP が塗装工の技能確認後、講習修了証を発行する。その有効期間は、講習修了証交付日から起算して3年間とし、有効期限内であれば、複数の塗装工事に従事することを可能とする。また、本講習会は工事請負企業が開催する。

2-2 受講対象者、講師及び技能確認員

- 1) 受講対象者は塗装技能者 (塗装工) とする。
- 2) 講師は WSP 施工管理者講習会の修了証保持者であること。
- 3) 技能の確認は、WSP 技術部会が認定した『WSP 長寿命形内面防食施工専門技術員』とする。

3. 講習会の内容について

3-1 講習内容

1) 座学「100年鋼管の意義と技術的内容について」

座学に使用する教本は、WSP075 等とする。

2) 技能確認

本講習会において、現場溶接部を模擬した鋼管あるいは突合せ溶接した鋼管に下地処理から本塗装 (3層塗り) までの一連の塗装工程を実施する。

WSP 長寿命形内面防食施工専門技術員は、講習会の最終日あるいはその後に技能の確認基準 (案) により塗装技能の確認をする。

3-2 修了証の交付について

塗装技能の確認ができた受講者に、日本水道鋼管協会より『講習修了証』を交付する。
なお、本講習修了者は、巻き込み鋼管内面の塗装についても対応が可能となる。

3-3 その他

一部の項目について講習を修了しなかった者は、十分に準備をした後、改めて当該項目について受講することが出来る。

本講習は、実際の施工時の手順を確認するものであり品質を保証するものではないので、施工にあたっては、施工管理者は WSP075 を熟読すると同時に WSP の施工管理者講習時に配布されたチェックシートを基に、施工状況を管理し品質確保に努める必要がある。

技能確認要領について

日本水道鋼管協会

1. 講習会基本スケジュールと基準項目

スケジュール	講習内容	基準項目
1日目	・座学（1時間） ・下地処理 ・プライマー塗装	・下地処理の等級等
2日目	1層目塗装	・塗装時間
3日目	2層目塗装	—
4日目	3層目塗装	—
5日目	塗装検査	・ピンホール ・膜厚 ・膜厚の凹凸差

2. 塗装確認の準備等

(1) 鋼管の準備

使用する鋼管は、φ800mm以上のものを使用する。

(2) 現場溶接部（ビード）の付与

上記鋼管には、現場溶接ビードに似せたビードを作る。（1リング/1塗装工）

(3) 工場塗装部の塗装

現場溶接部の塗装と工場塗装部との塗り重ねについての手順を確認するため、事前に工場塗装部を準備する。

(4) 技能確認の詳細は、別途定める。

- ・WSP長寿命形内面防食施工専門技術員の要領（派遣費用等含む）。
- ・講習会の開催とWSP専門技術員の派遣依頼申し込み要領。
- ・座学の内容、技能確認の基準等の詳細。

【講習修了証（案）】

【技能確認の基準（案）】

項目	基準
下地処理	SSPC-SP11の等級に仕上げる。
ピンホール検査	検出しないこと。 (電圧=4000~5000V)
膜厚	1.0mm以上2.6mm以下 であること。
膜厚の凹凸差	著しい凹凸がないこと。
塗装時間 (1層目)	1.0m ² 当り30分以内で 塗装すること。

長寿命形無溶剤エポキシ樹脂塗料塗装方法 塗装技能者講習修了証			
氏名		交付番号	
生年月日		交付年月日	
所属会社			写真
開催企業			
修了項目			
座学	下地処理	1層目塗装	2,3層目塗装
○	○	—	—

WSP